

鳥坂寺跡整備検討委員会 会議録

◆第4回会議（2013年6月18日）

時間…10：00～12：00

場所…歴史資料館3階 研修室

1. 開議

2. 事務局あいさつ

3. 報告

- ・ 条例改正に伴う委員会設置要綱の廃止と、教育委員会規則の公布・施行について

事務局：委員の方々について、要綱から、規則に基づく委嘱へと変更になったが、新たな委嘱状を公布しないことをご了承願いたい。

4. 審議

(○…委員からの意見・質疑、▲…事務局の回答)

- ・ 平成24年度に検討した整備基本計画案と報告書について

【事務局から説明】

【整備理念、整備基本方針、整備テーマ、整備目標について】

- 語句について、『整備理念』で「地域及び遺構の情報を正確に伝える。」とあるが、「遺構」よりも、「遺跡」としたほうが違和感がない。
- 文章の形式として、節や項などをより整理したほうが見やすい。文章があり、その下に文章の中のキーワードを抜き出すなどしておくとうわかりやすい。
- 『整備目標』で「古代建築研究の上で貴重な遺跡としての拠点づくり」とあるが、拠点とするより「交流の場」といった表現のほうが良い。
- 『整備テーマ』で、「古代河内の体感」と「古代河内の様子が体感できる展望スポットの設置」が重複しているのでは。どちらかを削除し、「古代河内の原風景がイメージできる展望スポットの設置」などとしてはどうか。
- ▲ 現段階では基本計画のため、より幅広い表現となっている。表現、字句などについて、再度検討を行う。

【全体計画(ゾーニングについて)】

- 現時点で大型バスでのアクセスは、交通規制のためできないが、アクセスが可能となるような将来的な展望はあるのか。
- ▲大型バスでの進入を可能にするためには、高井田駅、サンヒル柏原周辺などかなりの範囲の整備が必要とされるため、現実的には非常に難しい。
- 史跡の手前でバスから降り、少々歩いてでもアクセスできるようにする必要がある。大型バスが停車可能な最寄りの場所はどこになるのか、今後も検討を重ねていくべきである。
- 細かい点であるが、ゾーニング図と整備基本計画図をみると西回廊あたりが異なっている。図として、きちんと統一させておく必要がある。
- 文章とゾーニング図とが対応していないのではないか。各ゾーンの必要性を説明するための、補足的な文章を入れたほうがわかりやすい。
- ゾーニングについての文章の冒頭に、史跡周辺の土地利用状況(p16)を踏まえるなどの文言を入れると、以降のゾーニング図が理解しやすい。
- ▲ゾーニング図に説明を集約したために、細かい説明を割愛している。ゾーニング図につながるための文章を加える。
- 寺域空間を「園路などによりつないでいく」とあるが、実際には既存道路の利用が多くなるのではないか。また、「展示」という表現についても、塔跡などの範囲表示が展示と呼べるのか疑問である。なるべく、誤解を与えないような表現が望ましい。
- ▲基本計画ということで、細かい表現は避けているが、「展示」を「整備」にするなど、誤解のないような表現に努める。

【整備手法の検討、整備計画について】

- 金堂の礎石は原位置にはないが、何らかの形でその位置を明示すべきである。
- 山田寺のように礎石を引き上げて展示するという手法もある。
- 以前に復元されている金堂礎石の位置について、箱崎委員に再検討をお願いしたい。
- 実物の石で礎石を復元する以外にも、線などで復元する手法もある。
- ▲具体的な手法については、実施設計の段階で議論願う。基本計画では、何らかの方法で、金堂の礎石の位置を明示するという文章を追加する。
- 講堂の須弥壇について、再発掘して型取りするという事か。
- ▲再発掘して、遺存状況を確認する必要がある。調査結果によっては、型取りではなく、別の方法での復元になる可能性がある。
- 講堂須弥壇も残りがいいので、型取りによる復元が良いのではないか。
- 講堂の礎石は類似のもの、須弥壇は型取りだと統一感に欠ける。すべて型取りで遺跡を発掘した状況を、そのまま再現するという手法もある。

- ▲基本計画の段階では、礎石と須弥壇について、いずれも型取りによるレプリカ、もしくは、類似する自然石による復元のどちらかで、統一性を持たせるよう検討する。
- 塔跡について、片山廃寺の塔と「対照的位置」とあるが、「相対する」などの表現の方が良い。
- ▲次回の委員会でも、今回配付の基本計画の中の、字句、表現などの再検討を行いたい。今回と次回に指摘いただいたものを合わせ、まとめて修正する。

【委員の選任について】

- 高橋委員が来年3月まで休まれるということで、その後任者を、箱崎委員に伺いたい。
- 奈良文化財研究所の職員で、今年から遺跡整備研究室に配属された中島義晴氏を推薦する。
- ▲事務局から、連絡・調整する。

5. 事業計画（今後の見通し）

事務局：次回の委員会で、基本計画をまとめ、その後、保存管理計画の審議に移りたいと考えている。史跡整備に向けては、今年度に国に対して予算要望し、史跡指定範囲の公有地化を目指したい。次回の委員会は、9月中を予定している。

6. 閉議